

市民ボランティアによる垣根の低い民間の電話

「ママパパラインちば」は、行政等が行う救済や問題解決までの機能は持たないものの、子育てしている誰でもが必要としている「気軽に聴いてくれる電話・話せる電話」として社会的な存在価値があります。受け手・支え手・スタッフとして、傾聴や子ども・子育て等の専門性を磨き、普通の人が一定の研修を受け、普通の感覚で聴くことを大切にしています。「この電話があって良かった」「聴いてもらって気持ちが軽くなった」「また頑張れそう」などの声からは、指導や助言ではなく共感的に受け止める「傾聴」による応援は、先の見えない・救いの無いような状況でも、「つながる」ことで解決に向かう勇気や、気持ちを整理する力をもたらすものだということを教えてくれています。

ママやパパたち・家族が、気軽に安心して話せる場として、また、誰にもいえなかった胸の内や、押し込めていた気持ちを吐き出す場として、ゆっくりと時間をかけてお聴きしています。

子育ての悩みや不安は尽きることはありませんが、少しでも肩の荷物を軽くするお手伝いができること、民間で、傾聴等の専門性をもつ受け手ボランティアが、普通の感覚で聴くラインを特徴としている「ママパパラインちば」を、ご支援いただきますようお願いいたします。

お問合せ・申し込みは、子ども劇場千葉県センターまで(043-301-7262)



いつもがんばっているあなたへ!

ゆっくりおはなししませんか

あなたをひとりにしない・させない! 「ママパパライン」

「ママパパラインちば」[®]

子どもをもつママ・パパ・家庭の子育ての悩みや不安な気持ちを電話でお聴きします。なまえ・住所などはおききしません。安心してゆっくりおはなしください。電話だからこそ何でも言える。気軽にダイヤルを!

043-204-9390

毎週金曜日 10:00~16:00

全国9か所で全国キャンペーンを毎年開設

6日間毎日 10:00~16:00

ママパパラインちば アドカード

■ママパパラインちばを支える賛助金をお願いしています。

●賛助期間

【賛助の期間は1年とし、4月から翌年の3月までといたします。継続時期が近づきましたら連絡いたします。】

●ラインの最小限の基本的な運営のために使用します。(電話基本料金 周知のためのカード・ポスター作成費 研修費)

●賛助金は、1口 2,000円 (何口でも可)

●振込先

郵便振替 口座番号00150-9-415192

加入者名: 子ども劇場千葉県センター

「ママパパラインちば」は、千葉県小児科医会 千葉県歯科医師会 赤い羽根共同募金 市民の方々からの支援・寄付等で運営しています。

子ども(乳幼児~小学生)をもつ親・養育者の
子育て応援電話



ママパパラインちば

商標登録済

毎週金曜日 10:00~16:00

043-204-9390

●全国8か所のママパパラインでキャンペーン実施

2月頃6日間毎日開設 10:00~16:00

常設後援:千葉県

☎子育て中のママ・パパの子育ての悩みや不安、喜びなどを聴く専用電話です。

(小学生をお持ちのママ・パパもどうぞ)

☎子育て経験のある先輩ママ・パパたちが、あなたの気持ちを受け止め、やさしくお聴きします。

☎電話だからこそ、何でも言える。気軽にダイヤルを!



特定非営利活動法人 子ども劇場千葉県センター

〒260-0031 千葉県千葉市中央区新千葉
2-17-6 サンコート新千葉102号
TEL:043-301-7262 FAX:043-301-7263
E-mail kidchiba@lily.ocn.ne.jp
URL <http://chiba.gekijou.org/>

◆全国9か所のママパパライン



①ママパパラインほっかいどう

電話番号：080-6062-4735
毎週月曜日 13時～16時

②ママパパライン仙台

電話番号：022-773-9140
毎週金曜日 10時～16時

③ママパパラインふくしま

電話番号：0242-85-7878
毎月第1・3木曜日 10時～16時

④ママパパラインちば

電話番号：043-204-9390
毎週金曜日 10時～16時

⑤ママパパライン東京川の手

電話番号：03-3633-0415
毎月第1・3金曜日 13時～16時

⑥ママパパラインあいち

電話番号：052-203-8655
毎週水曜日 10時～16時

⑦ママパパラインわかやま

電話番号：073-432-3690
毎週火曜日 13時～16時

⑧ママパパラインひょうご

電話番号：078-945-8333
毎月第1水曜日 10時～14時

◆電話の声からの傾向や特色（プライバシーに配慮し再構築）

○子どもに関する相談内容については、「生活全般」「しつけ」「発育・発達」に関する電話が多い。

○お母さん／お父さん本人に関する相談内容は、全体の37%と一番多い。自分に関する深い悩み、孤独感、うつ病などの苦しみ、自分の親との関係について悩みなど、内容は多岐にわたる。

○夫（妻）との関係21%、舅姑・家族との関係22%、に悩みを持つ電話も多い。複雑な問題が絡みあっている。

○聴いてもらったママ・パパの声（傾聴された効果）

- ・ずっと誰にも話せなかったことが話せてほっとした。もつと前にこの電話を知っていれば良かった。
- ・話ができて少し軽くなりました
- ・話してすっきりしました
- ・気持ちが落ち着きました



◆ママパパラインは・・・ママ・パパたちの子育てを応援するために開設しています

☆ママ・パパたちのブルーな気持、悩み、とまどい、不安、喜び等、何でもお聴きする専用電話です

☆電話をお聴きするのは、子育てを経験したフツウのお母さんです。研修を積み専門性をもった傾聴ボランティアです。

☆ありのままのママ・パパの気持ちを受けとめ、何でも言いやすい雰囲気心がけています

☆かけ手は名前は言わなくていいし、途中で切りたくなったら切ってもいい電話です

☆もちろんプライバシーは守ります

☆電話だからこそ話せることがあります。気軽にダイヤルしてください

ママパパラインとは

<目的>

子どもを持つ親・家庭の子育ての悩みや不安に耳をかたむけ、共感的に聴く専用電話を通じ、話を聴いてもらったり、受け止めてもらうことで安定した気持ちを取り戻し、養育者自らが、新しい人間関係づくりや育児を前向きに楽しめるようにする。虐待の未然防止としての効果も期待されている。

<実績>

2002年2月22日（金）～28日（木）東京都内で197件を受けた
2003年10月6日（月）～11日（土）千葉市内で40件を受けた
2004年2月3日（火）～8日（日）千葉市内で27件を受けた
2005年1月26日（水）～2006年3月74件を受けた。
2006年4月より月4回（毎週金曜日13:00～16:00）に常設し、2007年3月までに103件を受けた。

2007年4月～2008年3月まで66件を受けた。
2008年4月～2009年3月まで40件を受けた。
2009年4月～2010年3月まで103件を受けた。
2010年4月～2011年3月まで96件を受けた。
2011年4月～2012年3月まで71件を受けた。
2012年4月～2013年3月まで111件を受けた。
2013年4月～2014年3月まで132件を受けた。
2014年4月～2015年3月まで151件を受けた。

<体制>

年間20時間の研修を積み重ねている19人の受け手・支え手ボランティア、5人のスタッフ。

緊急連絡体制としてカウンセラー、弁護士、小児科医、保健師等のアドバイザー体制と、児童相談所、子育て関係機関との連携をはかっている。

<広報周知>

県内54市町村の子育て支援課や、25市町村教育委員会を通じ、子どものいる家庭へカードを配布していただいています。

また、千葉県小児科医会、千葉県歯科医師会、幼稚園協議会等関係機関を通じて、ポスター掲示やカード配布の協力をいただいています。

